

「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業
神奈川県“つながり発見”パーク

ひきこもり当事者が外出せずに気軽に参加できるメタバース（仮想空間）を活用し、ひきこもり当事者を含む青少年が集える居場所としてのイベント実施、「こまりごと相談室」を設置し、ひきこもり当事者の社会参加を支援する。

○令和7年度の取組状況

・常設コンテンツとして、ゆったり過ごせる「カフェテリア」、ミニゲーム「隠れシラスを探せ!」、来場者が投稿した手紙を読める掲示板「海辺のつぶやき」などを設置した。

・ 参加者同士の交流を深めるイベント「メタともラウンジ」を 18回開催、内 2回はひきこもり支援団体と連携。延べ 469人が参加し、大変好評だった。



イベント後の記念撮影

・ 社会福祉士等の資格を持つ相談員が ひきこもり当事者や家族の悩みに対応する「こまりごと相談室」を開設。
利用者数は5人で、相談内容に応じて支援機関等を案内。

・ 9月5日(開場日)から3月6日(閉場日)までの 延べ来場者は6,797人 (内 ひきこもり推計数2,868人) で、昨年度の実績を大幅に上回った。

【課題】

- ・ イベントのない日は、来場者が少なくなる傾向があった
- ・ 「自分以外の来場者がいない時、孤独を感じすぐ退出した」との声があった

○令和8年度の取組計画

・ 地域若者サポートステーション専用空間を構築し、県内7地域の サポステを紹介する掲示を行うほか、週替わりで各サポステのスタッフが空間に入り、就労に関心のある方にサポステを案内したり、ちょっとした相談に対応。就労意欲を喚起し、リアルな就労支援につなげることを目指す。

・ 引き続き、カフェテリアやミニゲームなどの常設コンテンツを設置するほか、継続して来場した方にポイントの付与、ゲーム内容を変化させるなど、イベントのない時も継続的に来場を促す仕掛けを実施。また、自分以外の来場者がいない時にも孤独を感じないよう自動で対話を行うアバターなども設置予定。

・ 引き続き、参加者同士の交流イベントや、こまりごと相談を実施。交流イベントでは、ひきこもり支援団体との連携を拡充するほか、eスポーツを楽しむ回、参加者がファシリテーターを務める回などを実施する。

・ 空間の有効活用のため、大学等専門機関やひきこもり支援団体がセミナーや交流会を行う場として貸し出す。